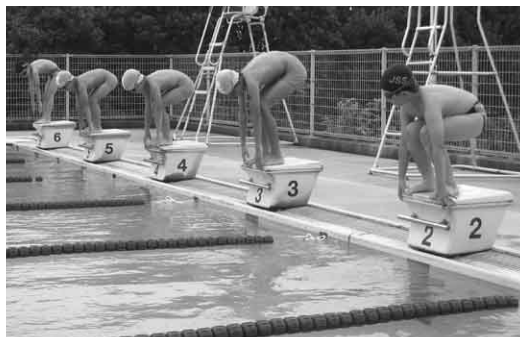


水中の熱いレース

第2回大山町水泳大会



大会結果 (団体総合)

- 優勝 チーム西小
- 2位 中山口部落
- 3位 (有) 西尾ブライト工業

大山町体育協会主催の水泳大会が、7月22日(日)中山中学校プールで行われました。部落・職域チームなど約30人が参加し、曇り空にもかかわらず、熱いレースが展開されました。総合優勝はチーム西小が獲得しました。

参加者には参加賞として町内産スイートコーンが配られ、選手・応援者とも旬のおいしさを堪能しました。

経験と知恵でまちづくり

中山、名和、大山各公民館の高齢者学級の合同交流会が、7月17日(火)生活想像館わくわくホールで開かれました。

「大山町のまちづくり」と題し、町長が今、大山町で重点的に取り組んでいるまちづくりの構想について講演しました。講演後の質疑では、介護や税のことについての質問など、参加者から活発な意見が寄せられました。

町長は参加者からの意見に対し「新しいまちづくりは町民が主役。一人ひとりの力を合わせ、輝く大山町を築いて



町長の講演を真剣に聞く高齢者学級の皆さん

いくために、みなさんの経験と知恵でまちづくりをすすめてみましょう」と答えました。

蛍光反射材で事故防止

ピカピカ・セイフティー作戦!



蛍光反射材着用をPR

7月11日(水)から10日間「夏の交通安全県民運動」が行われました。

交通安全協会名和支部では、期間中さまざまな交通安全に対する啓発活動が行われていて、その中のひとつ、夜間の蛍光反射材着用促進をPRする「ピカピカ・セイフティー作戦」が、19日の日没後に役場本庁前の国道9号線沿道で行われました。

参加者の手に握られたのぼりやプラカードの文字が、車のライトに照らされて浮かび上がり、ドライバーに交通安全を呼びかけていました。

大山町に感謝状

蓄熱システム普及に貢献

「ヒートポンプ・蓄熱システム」技術の普及・振興を目的とした「第10回蓄熱のつどい」が、7月12日(木)東京のホテルニューオータニで開かれ、システム普及に貢献した大山町ほか100団体の企業、自治体に感謝状が贈呈されました。

「ヒートポンプ・蓄熱システム」とは、エコキュート、エコアイスなどの蓄熱式の空調、給湯システムのこと。エネルギー効率が高く、地球環境にやさしいといわれています。

大山町では早くから公共施設や給食センターなどに蓄熱システムを導入しており、このたびその功績が認められました。



感謝状を手にする町長と、財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター加藤寛理事長(写真右)